

東京支部・技術士会共催キャノン電子工場見学報告

この度H20年蔵前技術士会工場見学会は、蔵前工業会東京支部との共催で秩父のキャノン電子工場と羊山公園の美術館の見学を行った。技術士会関係20名を含む総勢59名でバス満員の大人気であり予想にたがわず素晴らしい工場運営を学べ、また「やまとあーとみゅーじあむ」での出品と富田館長自身の説明にいずれも「目から鱗」の連続で参加者一同満足の日でした。但し早期満席となり多くの希望者をお断りせざるを得ず企画の不手際を衷心からお詫び申します。

7月11日（金）8：00品川高輪口出発して首都高から関越高速を北上して花園インターを降り国道140号線で秩父駅を抜け市南部で石灰岩の武甲山の麓にある下影森のキャノン電子工場にやや早めの10：30に到着した。高名な酒巻久社長自らの体験や方針を伺い6班に分かれて2時間にわたる現場見学では椅子を撤去して事務系・製造系ともに立ち作業・立ち会議の実態を目の当たり見て、7年間で売上1.3倍で経常利益12.8倍の実績の秘密に触れることが出来て全員驚嘆の連続と今日の経営不安解消の元気を与えられた。広い敷地内建物は40年前のものだが、一切不要物なく山水の庭園に埋められた工場は将来に徹底した「5Sの実践」・「ムダの排除」そして「おいしい社員の食事」カレーライスをご馳走になり、「社員の心を掴んだ経営」が最大の「目から鱗」となった。

ついで市郊外の芝桜で有名な高台の「羊山公園内の（財）やまとあーとみゅーじあむ」を拝観した。ここは秩父の大地主である館長の富田孝氏が私的に集めた書画(棟方志功)や梅原龍三郎はじめ多数の名画そしてわが東工大窯業科先輩浜田庄司・河井寛次郎・島岡達三3氏の傑作陶芸作品の多数が展示されておる。そして富田さん自身のご説明により現代美術史の中核を作品を通して学んだ。

参加者一同素晴らしい見学会行事に感銘して同行頂いた蔵前工業会東京支部長長屋稔氏(27年機械)と同事務局に感謝申します。

以上

(文責 蔵前技術士会企画幹事長 尾島正男)

